

第37回 全日本自閉症支援者協会 岩手大会 開催要項

1. 大会趣旨

強度行動障害への支援を追求し、地域で支える仕組みを作る

2022年度に「強度行動障害を有する者の地域支援体制に関する検討会」が開催され、その報告書の中で「支援人材のさらなる専門性の向上」「支援ニーズの把握と相談支援やサービス等に係る調整機能の在り方」「日常的な支援体制の整備と支援や受入の拡充方策」「状態が悪化した者に対する『集中的支援』の在り方」「こども期からの予防的支援・教育との連携」「医療との連携体制の構築」という6つの視点が示された。地域の支援体制を整えていく上では、中核的人材や広域的支援人材を活用しながら、重層的かつ横断的でしなやかな地域における協働を進めていく必要性も指摘され、そうした人材の養成研修も始まっているところである。

今回の大会では、強度行動障害支援にテーマを絞り、基調講演や分科会、そしていろいろな鼎談を通して、それぞれの地域がこれから進むべき方向性を参加者の方々といっしょに考えていきたい。

2. 主催

全日本自閉症支援者協会

開催担当 全自者協北海道・東北ブロック

厚田はまなす園 札幌市自閉症者自立支援センターゆい

石山センター 社台福祉園 社台やわらぎ園 樽前希望学園

星が丘寮 ねお・はろう 虹の家

3. 後援

岩手県 日本自閉症協会

岩手県知的障がい者福祉協会 岩手県自閉症協会

4. 期日

令和6年12月9日（月）～10日（火）

5. 会場

アイーナ（いわて県民情報交流センター）
盛岡市盛岡駅前西通1丁目7-1



6. 参加対象者

全日本自閉症支援者協会会員施設職員

知的障害者施設関係職員

保護者 当事者 学生

その他の関係機関職員

会場の関係で300名を定員とさせていただきます。

- 7. 参加費** 両日参加の場合：8,000円 1日のみ参加の場合：4,000円
保護者の方と当事者の方、学生はそれぞれ半額となります。
★2日目の午後のプログラムは支援者のみの参加となるため★
(情報交換会費は別途8,000円 2日目の弁当をご注文の場合別途1,000円)

8. 大会プログラム ※後日の動画配信は行いません。

1日目

■受付時間

12:00 ~ 12:50

■開会行事

12:50 ~ 13:10

■全日本自閉症支援者協会の理念「びるどUPプロジェクトの報告」

13:10 ~ 13:40

全日本自閉症支援者協会 副会長 石井 啓氏

■行政説明

13:40 ~ 14:10

厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部

障害福祉課 地域生活・発達障害者支援室

発達障害施策調整官 山根 和史氏

14:10 ~ 14:30

こども家庭庁 支援局 障害児支援課 発達障害児支援専門官 今出 大輔氏

■基調講演①

14:45 ~ 15:45

「行動障害のある自閉症の子育てにおける父親の役割」

岩手県自閉症協会 熊本 葉一氏

松田 文弥氏

進行：盛岡大学短期大学部幼児教育科

小川 博敬氏

■基調講演②

16:00 ~ 17:00

「中核的支援人材と広域的支援人材が果たす役割」

独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園

理事長 田中 正博氏

■情報交換会

18:00~

ホテルメトロポリタン盛岡 ニューウイング 4階「メトロポリタンホール」

盛岡市盛岡駅前北通2-27 アイーナからは盛岡駅をはさんで反対側です。

2日目

■受付時間

9:20 ~ 9:50

■鼎談祭り

9:50 ~ 11:30 自分の行きたい場所に自由に移動できます。

* A会場 「在宅で暮らす強度行動障害の方の生活を支えるために」

登壇者

札幌市緊急短期入所調整窓口業務の現状と展望

社会福祉法人はるにれの里 加藤 潔氏

支援の実際

Good Job 奥州 佐々木 千枝氏

行政の立場から進めていきたい取り組み

岩手県保健福祉部障がい保健福祉課 内藤 和宏氏

* B会場 「強度行動障害の方々を支える地域の支援体制を構築するために」

登壇者

集中的支援の展望と課題

社会福祉法人はるにれの里 佐藤 貴志氏

受け入れ先を増やしていくための展望と課題

岩手県発達障がい者支援センターウィズ 長葎 康紀氏

事業所や支援者を支える仕組みを整えていくための展望と課題

社会福祉法人北摂杉の子会 伊名岡 宏氏

* C会場 「虐待を起こさない職場づくりのために」

登壇者

管理者の立場で考えていること

社会福祉法人若竹会 新たな郷わかたけ 高屋敷 大助氏

現場職員の立場で考えていること

社会福祉法人フレンドシップいわて 虹の家 高橋 健太氏

障がい者福祉の立場で考えていること

NPO 法人ふれんど45 小林 信篤氏

* D会場 「高齢化のニーズに丁寧な対応をしていくために」

登壇者

本人の高齢化に伴う医療的ニーズにどう対応していくか

社会福祉法人侑愛会 中野 伊知郎氏

高齢化によるさまざまなニーズにどう対応していくか

社会福祉法人檜の里 近藤 裕彦氏

高齢化の実態調査から見えること

盛岡大学短期大学部幼児教育科 小川 博敬氏

★厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課 地域生活・発達障害者支援室 発達障害施策調整官 山根 和史氏 発達障害対策専門官 西尾 大輔氏
こども家庭庁 支援局 障害児支援課 発達障害児支援専門官 今出 大輔氏が各鼎談会場を回ります。貴重な意見や感想が伺えると思います。

■分科会（ここからは「支援者」で申し込みされた方のみ参加となります）
12:30 ~ 14:50 午後はワークショップ形式の分科会です。

*第1分科会 「障害特性についてのアセスメントの引き出しを増やそう」
映像を見ながら障害特性についてのアセスメントの方法を学びます。
企画者：社会福祉法人侑愛会

ねお・はろう 上川 孝一氏

*第2分科会 「冰山モデルを使って事例を整理してみよう」
架空事例を基にしながら冰山モデルの考え方を学びます。
企画者：社会福祉法人はるにれの里

札幌市自閉症・発達障がい支援センターおがる 石田 昭人氏

*第3分科会 「ケースカンファレンスを活用しよう」
実際にケースカンファレンスをやってみて、その効果や方法を学びます。
企画者：社会福祉法人はるにれの里

自閉症者地域生活支援センターなないろ 加藤 潔氏

*第4分科会 「強度行動障害の方への環境調整を考えよう」
アセスメント結果を基にしながら、仮想環境を作ってみます。
企画者：社会福祉法人侑愛会

北海道発達障害者支援センターあおいそら 片山 智博氏

★厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課 地域生活・発達障害者支援室 発達障害施策調整官 山根 和史氏 発達障害対策専門官 西尾 大輔氏
こども家庭庁 支援局 障害児支援課 発達障害児支援専門官 今出 大輔氏が各分科会会場を回ります。貴重な意見や感想が伺えると思います。

■閉会

14:50 ~ 15:00 会場ごとに閉会にかかわる諸連絡を行います。

9. 大会事務局 〒029-4501 岩手県胆沢郡金ヶ崎町六原町の内表道下31-2
障害者支援施設 虹の家（佐藤直美・高橋由紀）
TEL 0197-43-2787
FAX 0197-43-2789
Eメール nijinoie@k3.dion.ne.jp

10. 参加申込等

別紙をご覧ください、申込専用サイトからお申し込みください。

<http://www.mwt-mice.com/events/zenjiisyakyo-morioka2024>

〒020-0022 岩手県盛岡市大通 3-3-10（七十七日生盛岡ビル 9階）
名鉄観光サービス㈱盛岡支店（佐々木・大川）

TEL 019-654-1058 / Eメール zenjiisya37@mwt.co.jp

